



令和6年度2学期始業式

「他者理解」

長い夏休みが終わり、今日から二学期が始まります。

1学期の終業式で私は「凡事徹底」という言葉についてお話ししました。日々の小さな良いことを、徹底して行うことで大きな成果が得られるという意味。皆さん実践してくれましたでしょうか？ もし、まだ「凡事徹底」の意識が足りないと感じる人がいれば、二学期はぜひその意識をもって学校生活を送ってほしいと思います。

さて、今年の夏はパリオリンピックが開催され、世界中のアスリートたちが熱戦を繰り広げました。（私の個人的なことですが大学柔道部の後輩、永山選手、橋本選手、村尾選手、ウルフ選手4人ともよく頑張ってくれました。）皆さんもテレビや SNS 等であらゆる競技のオリンピック選手の感動的な瞬間を目にしたことと思います。スポーツには人々の心を動かし、勇気や希望を与える力があります。しかし、その一方で、SNS を通じて世界中から発信される誹謗中傷も話題となり、今回大きな問題となっています。

そこで、皆さんには、この SNS の使い方について、少し話したいと思います。今やほとんどの高校生がスマートフォンを持つ時代になりました。SNS は大変便利で楽しいものです。しかし、使い方を間違えると、自分や他人を傷つけるツールにもなりかねません。中高生による SNS 上での誹謗中傷やトラブルが年々増えています。皆さんは、まず相手の気持ちをよく考え、さらに他者へのリスペクトを忘れずに、SNS については適切な利用をしてください。

また、関連することですので、いじめや暴力行為についてもここで強調したいと思います。いじめや暴力行為は、直接であろうがネット上であろうが、どのような形であれ絶対に許されません。もし、そういった行為を目にしたり、知ったりした場合は、決して見過ごさず、必ず近くにいる先生に報告してください。職員室に駆け込んでくれても結構です。誰かが苦しんでいることを、知りながら何も行動しないことは、いじめや暴力行為に加担、あるいは助長することに繋がりがありません。先生たちは、すべての生徒が互いに尊重しあい、支えあう学校文化を築いていきたいと考えています。

最後に、「他者理解」についてお話しをします。学校は、人とのつながりや絆を深め、豊かな人間関係を構築する場です。「他者理解」とは、相手の立場や考え、感情を理解しようとする姿勢を持つことです。人それぞれが、異なる背景や価値観を持っていることを認め違いを尊重することが、健全で支えあう学校環境を作り上げるための、第一歩となります。時には、相手の言動に共感できなかつたり、理解できなかつたりすることもあると思います。しかし、そのような時こそ、相手の話に耳を傾け、なぜそのように感じているのかを考えてみてください。私たちは、対話を通じて理解を深めることで、誤解や衝突を未然に防ぎ、互いに支えあう関係を築くことができます。そして、皆さんは多様な考え方や背景を持つ仲間たちと共に学ぶことで、自分自身をより深く理解し、成長することができます。

二学期が始まりましたが、皆さんがさらに「他者理解」を深め、人間的に大きく成長する機会となることを願っています。私たち教職員一同、皆さんの成長を全力でサポートしていきます。ともに学び、充実した二学期を過ごしていきましょう。